取付の注意点

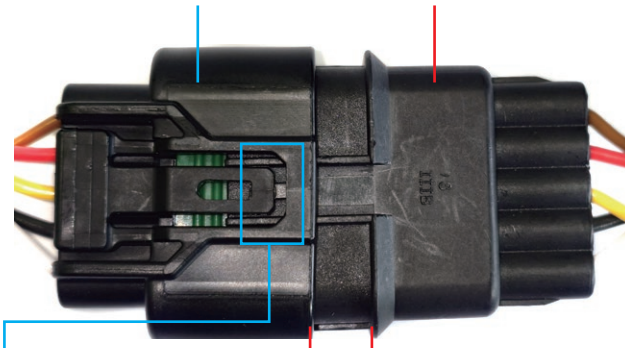
2025. 1

注意 **メインハーネスの接続の際に TPS へ接続する際はゆっくりカプラーを接続し、抵抗があるような場合は無理に接続しないようにしてください。通常は抵抗なく簡単にカプラーが接続できます**
接続する際に抵抗がある状態で接続すると違う場所に接続され【チェックランプの点灯】や【車体に対する不具合】が出る場合があります。

＜製品取付の注意点＞

NG

TPS カプラー【メス側】　TPS カプラー【オス側】

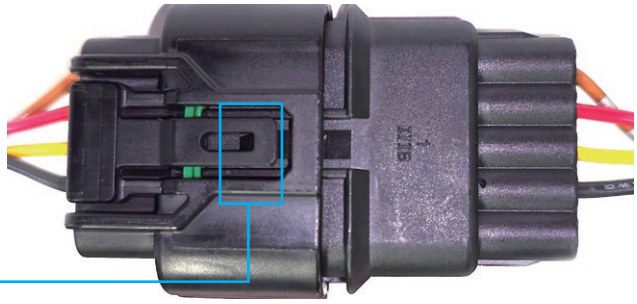


約 5mm

カプラーのロックが
かからないくらいで抵抗があります。

この時点で抵抗がある場合は一度、オス端子の確認をしてください。

OK

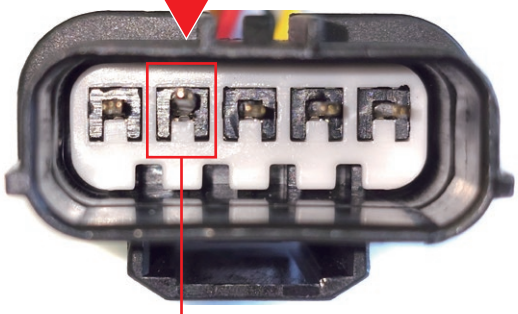


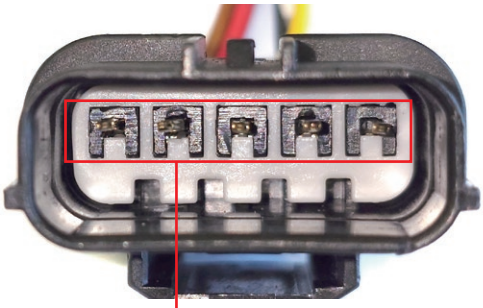
カプラーのロックが
入る手前まで簡単に接続できます。

カプラーの傾きがなくを真っすぐ接続した場合	通常は抵抗なく簡単にカプラー接続ができます。
カプラーが傾いた状態で接続した場合	抵抗があるまたはカプラー接続がやりにくい

接続してしまった場合

カプラーを挿し込みメスカプラーとオスカプラーとの隙間が約 5mm の時点で少し挿し込みの抵抗を感じる場合はオス端子が違う場所に接続され、オス端子が曲がる可能性があります。





しっかり接続されなかったオス端子
が他の端子と比べて真っすぐではなくなります。

オス端子を他の端子と同じように矯正してください。

オス端子の確認を行い、曲がっている場合は他の端子と同じように矯正して再度接続を行ってください。